



日本プライマリ・ケア連合学会
東北ブロック支部



<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-tohoku/index.html>


JPCA TOHOKU

発行人
支部長：菅家 智史

【ブロック支部からのお知らせ】

■ブロック支部役員交代のお知らせ

2024年8月12日にオンライン会議で開催いたしました日本プライマリ・ケア連合学会東北ブロック支部代議員会に置きまして、2024年～25年の役員交代が承認されましたのでご報告いたします。

役職	氏名	所属県	職種	所属
支部長	菅家 智史	福島	医師	福島県立医科大学医学部 総合内科・総合診療学講座
副支部長	長野 正裕	宮城	医師	長野内科・胃腸科
副支部長	星 利佳	山形	薬剤師	星薬局
幹事	坂戸 慶一郎	青森	医師	健生黒石診療所
幹事	松岡 史彦	青森	医師	六ヶ所村医療センター
幹事	川末 真理	青森	薬剤師	
幹事	米田 博輝	青森	医師	弘前大学大学院医学研究科総合地域医療推進学講座
幹事	植木 重治	秋田	医師	秋田大学大学院総合診療・検査診断学講座
幹事	作左部 大	秋田	医師	秋田厚生医療センター
幹事	下沖 収	岩手	医師	岩手医科大学 総合診療医学講座
幹事	浮田 昭彦	岩手	医師	さわやかクリニック
幹事	石井 正	宮城	医師	東北大学病院 総合地域医療教育支援部
幹事	小幡 篤	宮城	医師	みちのく総合診療医学センター/しばた協同クリニック
幹事	深瀬 龍	山形	医師	県立河北病院
幹事	高橋 潤	山形	医師	公立置賜総合病院 総合診療科
幹事	遠藤 芽依	福島	医師	福島県立医科大学医学部 地域・家庭医療学講座
幹事	松木 友治	福島	薬剤師	ファーマシーすず
監事	川島 孝一郎	宮城	医師	仙台往診クリニック
監事	齊藤 崇	秋田	医師	藤原記念病院
事務局		福島		福島県立医科大学医学部 総合内科・総合診療学講座

役員交代に伴い、事務局をみちのく総合診療医学センターから福島県立医科大学医学部 総合内科総合診療学講座に移転いたしました。4年間当支部の事務局運営にご尽力いただきました、みちのく総合診療医学センターの皆様へ御礼を申し上げます。

新事務局（2024年8月より）

〒960-1295 福島県福島市光が丘1 福島県立医科大学医学部総合内科・総合診療学講座内
Tel 024-547-1516 Fax 024-547-1210 Mail comfam@fmu.ac.jp

■新支部長挨拶

菅家 智史

福島県立医科大学医学部 総合内科・総合診療学講座



このたび日本プライマリ・ケア連合学会の東北ブロック支部長に就任いたしました、菅家智史と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本学会は「人々が健康な生活を営むことができるように、地域住民とのつながりを大切にした、継続的で包括的な保健・医療・福祉の実践及び学術活動を行う」ことを目的としています。この理念のもと、私たちの東北ブロック支部でも、地域に根ざしたプライマリ・ケアの実践と発展に尽力してまいります。

具体的には、年1回の東北ブロック支部学術集会の開催を中心に、各県支部の活動支援、薬剤師、看護師向け企画などを積極的に実施していく所存です。また、総合診療専門研修・家庭医療研修のサポートや、学生向けの総合診療・家庭医療の普及活動にも力を入れてまいります。

プライマリ・ケアの担い手には、包括的な診療能力に加え、患者一人ひとりの背景・思いに合わせた個別的ケアの提供力が求められます。さらに、地域の医療・介護・福祉をつなぐ連携の要としての役割も重要です。こうした多様な能力を持つ人材の育成と、地域のプライマリ・ケア体制の充実に向けて、支部活動を通じて貢献していきたいと考えております。

会員の皆様におかれましては、ぜひ積極的に支部活動にご参加いただき、地域のプライマリ・ケアの発展にお力添えいただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

【県支部活動】

■秋田県支部

○秋田県支部総会開催のご案内

2024年度の秋田県支部総会は、11月2日（土）午後、秋田大学医学部附属病院シミュレーション教育センターで開催します（現地開催のみを予定しております）。今年度のテーマは「秋田発、次世代プライマリ・ケア人材の育成戦略」です。県内のプライマリ・ケア従事者をいかに増やしていくかを考えていきます。

今年度は特別講師に、獨協医科大学総合診療医学主任教授の志水太郎先生をオンラインでお迎えします。人が集まる獨協医科大学総合診療科の教育・リクルートについてお話頂く予定です。また、県内初のプライマリ・ケア看護師を受験された看護師や、県外で在宅医療フェローシップを研修中の専攻医からの活動報告も予定しております。

参加申込方法など詳細につきましては、まもなく県支部 HP などでもアナウンス予定です。秋も深まる秋田で、皆様にお会いできますことを楽しみにしております。

○JPCA 第14回東北ブロック支部学術集会での活動報告

9月14日（土）・15日（日）に仙台市にて行われた上記集会に、秋田県からも多数参加させていただきました。発表や登壇をされた先生方をご紹介します（敬称略）。

嵯峨亜希子（秋田大学）：一般演題8「夜間に増悪する四肢末端痛に対して鉄補充が有効だった2症例」

高橋琴乃（秋田大学）：一般演題 9「反復性発熱や頭痛を呈する若年女性に柴胡桂枝湯が有効であった 2 症例」
佐藤誠（北秋田市民病院）：一般演題 12「地方の地域医療医からみた能登半島地震」
松本奈津美（岡山家庭医療学センター）：ワークショップ 1【総合診療分野のキャリアデザイン】「総合診療」への期待と不安～とことん語り合いましょう～」シンポジスト
渡部健（市立角館総合病院）：学生セッション オブザーバー・講師

また、今年も学生の学会参加支援を行いました。今回は秋田大学生 5 名、自治医科大学生 1 名の計 6 名が参加してくれました。昨年に引き続き参加してくれた学生もあり、継続して総合診療分野に興味を持ってくれていて嬉しい限りです。



■福島県支部

○第7回 ふくしまプライマリ・ケアトーク

福島県支部では、プライマリ・ケアに関わる方々にお役に立つような企画として Zoom を使用したオンラインセミナー「ふくしまプライマリ・ケアトーク」を年 2~3 回開催しております。第7回を 7 月 6 日に開催いたしました。

「こんなに変わる！認知症高齢者の自発性を引き出すケア」

株式会社エシカル郡山 代表取締役 星 佳子 先生

日時：2024 年 7 月 6 日（土）16 時～17 時

会場：Zoom ミーティング

株式会社エシカル郡山の活動を中心にお話しいただきました。エシカル郡山では訪問看護ステーション「toivo」、こども食堂「PENTA」の活動を通して認知症の高齢者の自発性を引き出す取り組みを行っており、これらの活動では高齢者の過去の経験を重視することで、参加者の意欲を高めて活動への積極性に結びつけていっていました。高齢者の希望や自発性を引き出すためには、言葉の意味を深く掘り下げ、コミュニケーションを重視することが重要だと教えていただきました。プライマリ・ケアの観点から、地域全体を見据えた活動の重要性を再認識したお話でした。

第7回
ふくしま プライマリ・ケアトーク
こんなに変わる！
認知症高齢者の自発性を引き出すケア
2024 年 7 月 6 日（土）16:00～17:00
講師：星 佳子さん 株式会社エシカル郡山 代表取締役
会場：ZOOMミーティング 参加費：無料
*会員でなくとも、福島の医療・介護職の方はどなたでも参加いただけます！（定員100名）
お申込み
お問合せ
主催/日本プライマリ・ケア連合学会 福島県支部
〒960-1205 福島県福島市光が丘1番地
福島県立医科大学 地域・家庭医療学講座内
[E-mail] office.jpcafksm@gmail.com
[HP] https://jpcafksinfo.wixsite.com/website
期限：7月4日

今後も多職種が気軽に学び合える会として、ふくしまプライマリ・ケアトークを企画・運営してまいります。
ご質問・お問い合わせなどは JPCA 福島県支部 事務局までご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております！